



撮影協力/FJS(エフジェイズ)は駒沢通り沿い、祐天寺近くにあるライブスポット。開放感のある活潑なデザインの大人の音楽スペース

☎03-3760-2825 東京都目黒区中目黒5-1-20
http://fjs.fukamachi-jun.com/



FENDER 83 ストラトキャスター

エレキギターのスタンダードとして、ジミー・ヘンドリクス、エリック・クラプトン、ジェフ・ベックなど名だたるギタリストが愛用したことで知られる。このストラト特有のロック系の音と形を愛するミュージシャンは多い

FENDER Twin Reverb AMP

この上なくクリーンでファットなトーンは他の追随を許さない。フェンダーの基本ともいえるべきサウンド。ライブハウスやスタジオなどTWIN REVERBを常備しているところは多い。真空管ならではの柔らかなサウンドが魅力のアンプ

太細 通(たさい・とおる)

1960年札幌生まれ。国立室蘭工業大学工学部建築工学科卒業。現在株式会社西原研究所代表取締役所長。(社)日本環境設計家協会 専務理事。港北ニュータウンセンター北エリア開発プロデュース、など数々の都市開発プロジェクトの計画に携わる一方、Y-HOUSE、SPAZIO Di Arte、仙石原別荘(K邸)などの高級戸建住宅の設計作品も多く、街なみ景観デザイン、建築デザイン、インテリアデザインなど幅広い範囲で高く評価されている



物を買うときの基準は「本物」を選ぶこと。
時代を超越した価値があるものを手にしたい。

——このギターとアンプを買うきっかけについて教えてください。

僕は昔から音楽が好きで、高校生のころはロックだったんですが、大学生のころにはファンキー・ジャズやフュージョンが好きになり、クルセイダーズとかステツプスなどのコピーバンドをしていました。大学の最後の年に購入したのがこのフェンダーのストラトキャスターでした。他にも何本か持っていますが、これが一番のお気に入りです。形も音も一番です。どちらかというとロック系のギターなんです。ジャズ系の人も多く使っている一本ですね。僕はストラトの音が一番好きで、長い間の憧れだったんです。その後、仕事を始めてから30代まではあまりに忙しくてギターを弾く機会もなくなってしまったんですよ。でも40過ぎてから昔のメンバーなんかもまたぬくぬくと始めたので、僕も始めて。それでいいアンプが欲しくなって買ったのがこのツインリバーブというアンプ。音が本当に柔らかくていいんですよ。

——物を買う基準とは何ですか

僕は何でもそうなんですが「本物」が欲しいんですよ。僕にとってエレキギターの本物とはフェンダーなんです。アンプもそう。他にも音を聞く空間にはこだわりのあって、家ではBOSEのAW1を入れて楽しんでいます。「本物」

の基準が何かを問われると困るんだけど、時代を超越した価値があるものかな。——なぜこのお店に自分のギターやアンプが置いてあるんですか？

僕が20数年前にバンドをしていたころ、日本ではプリズムやカシオペアなどのフュージョンバンドが活躍していたころで、とてもよく聞いていましたね。7年前に恵比寿のアートカフェという小さなライブハウスで、プリズムのメンバーだったピアニストの深町純さんのライブを聞くことができたのは衝撃的でした。学生の頃に大ファンだった「本物」のミュージシャンがその場にいらるんですからね。そこで話を聞いて、懇意にさせていただいたのがきっかけで、昨年、深町さんがライブのできるカフェを持ちたいという話があったときに、デザインをさせていただいて出来たのがこのエフジェイズというお店です。それで、この自分のギターとアンプを置かせていただいていた、たまにちょっとだけ店の終了間際なんか弾かせてもらって。20数年前にその音楽を聞いていたことがきっかけで、今ここに自分の尊敬するミュージシャンのためのスペースを作れたのは、本当に建築家としてうれしいことです。大人の音楽を聴くスペースとして、本当に居心地のよいの店に通っています。